

▶▶▶ オーラリティによる歴史・文化発掘とオーラルヒストリー・アーカイブの構築

## 歴史的な出来事を体験した人々やコミュニティの証言を聴き取り、次世代に継承する

### ▶ プロジェクトメンバー

- 西倉 実季（教育学部）
- 長廣 利崇（経済学部）
- 東 悦子（観光学部）
- 山神 達也（教育学部）
- 藤田 和史（経済学部）
- 吉村 旭輝（紀州経済史文化史研究所）

○はプロジェクト代表

### ▶ 共創相手

- 和歌山県古座川町役場
- 和歌山県中南米交流協会
- NPO法人 日ノ岬・アメリカ村
- わかやまエデュケーションシステム
- 相芦会

### プロジェクトの背景

地域社会には、関係者のあいだでのみ共有されてきた歴史や文化が多数存在する。人々にインタビューを行い、それを録音して収集される口述の資料（オーラルヒストリー）を保存・公開するアーカイブスの構築は、そうした歴史・文化を次世代へと継承することに貢献しうる。関係者にとっては、自身の経験や所属するコミュニティの歴史・文化が継承に値する価値を有することの発見につながりうる。

### プロジェクトの目的

このプロジェクトの目的は、オーラルヒストリーを用いて紀伊半島の歴史・文化を発掘することである。歴史的・社会的な出来事を体験した人々の証言を聴き取るオーラルヒストリーの手法は、歴史学のみならず、様々な学問領域で採用されてきた。体験者の生きられた経験を重視するこの方法は、文献資料には必ずしも記録されておらず、出来事に関係する人々のあいだでのみ共有されてきた歴史や文化を発掘するのに適している。

2021年度は、①災害からの復興過程を介してみる地域の姿、②太平洋戦争前後の北米および中南米諸国への移民経験、③和歌山県の女性起業家の経験、④1960年代を中心とする和歌山大学における学生運動の経験

に関するオーラルヒストリーを収集した。

### プロジェクトの活動内容

#### ①災害からの復興過程を介してみる地域の姿（山神）

本テーマでは、災害時の被災状況や災害からの復興過程に関する証言を収集して、防災・減災に向けた基礎資料とするとともに、災害を介して地域のあり様を記録することを目的とする。2021年度は、紀伊半島大水害で甚大な被害を受けながら、水害などによる直接的な人的被害が発生しなかった和歌山県古座川町を対象として、町役場の方や住民の方に聞き取り調査を実施した。また、同町高瀬地区で、住民4名が参加する座談会形式のインタビュー調査を実施し、紀伊半島大水害時の様子などをお話しいただくとともに、現場で説明を受けた。高瀬地区の調査では、約1時間30分の動画を撮影した。

#### ②太平洋戦争前後の北米・中南米諸国への移民経験（東）

和歌山県は全国有数の移民送出県であった。本テーマのもとに、消失しつつある海外への日本人移民の歴史の一端を記録するため、移民・移住体験者やその関係者にインタビューを行い、その人々の語りを記録し、次世代へ語り継ぐことを目的とした。移民の記憶を語り継ぐことに関しては、志を同じくする機関や団体が和歌山県下に組織されている。今回は、そういった団

体にご協力頂き、協力者同席のもとに、①カナダに移民した縁者のいる方々3名、②ご自身が日系ブラジル3世の方1名、③戦後ブラジルに移住した家族のいる方1名にインタビューを実施した。各人のお話は同意を得て録音し、総計約5時間であった。

### ③和歌山県の女性起業家の経験（長廣）

和歌山の地域性が女性の起業にどう影響したかを探ることを目的に、和歌山県の女性起業家2名にインタビューを実施した。その際、起業の理念や起業までのプロセスにおける男女間の違いを検討することも念頭においた。公刊されている自伝の分析を通して、女性の起業家（経営者）は、独立起業型、事業承継型、内部昇進型、社会的起業家型に分類できることがわかったため、インタビュー協力者は、独立型起業家と事業承継型起業家を1名ずつ選定した。総計3時間の音声データは、逐語文字起こしをしたうえでインタビュー協力者に確認してもらい、次年度に実施予定のテキスト・マイニングのための準備を整えた。

### ④和歌山大学における学生運動の経験（西倉）

1960年代を中心とする学生運動に参加した5名の経済学部卒業生にインタビューを実施した。学生運動に

関わるきっかけや当時の問題意識、運動の実際やその中で共有されていた学生文化について証言を得た。協力者の承諾を得て作成したインタビューの逐語文字起こしの一部を抜粋して、紀州経済史文化史研究所2021年度特別展「1969：和歌山大学の全共闘運動」（会期：2021年11月16日～12月17日）においてパネル展示した。録音した音声の一部を展示室で再生し、多彩な資料による展示となるよう活用した。また、文字起こし全体を収録して『オーラルヒストリー資料集1：和歌山大学の全共闘運動の語り』として刊行した。

### プロジェクトの成果

4つの調査それぞれにおいて、歴史的・社会的な出来事が個人やコミュニティにとって持つ意味合いおよび体験者の経験の諸相を把握し、先行研究や一般的に語られている事柄を修正・更新することができた。これらは、各テーマの今後の歴史・文化発掘にあたって中心に位置づく重要な知見である。また、オーラルヒストリー・アーカイブスのウェブサイトを構築し、4つの調査で収集した口述の資料の一部を収録した。最後に、調査にご協力いただいた皆様に記して感謝申し上げます。



写真1 古座川町高瀬地区の水上げ小屋 (2022年3月撮影)



写真2 2021年度特別展「1969：和歌山大学の全共闘運動」

プロジェクトに関するお問い合わせ  
紀州経済史文化史研究所

E-mail : kishuken@ml.wakayama-u.ac.jp  
URL : <https://www.wakayama-u.ac.jp/kisyuken/>

